

# ピロリ菌をご存知ですか？

<ピロリ菌は胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃癌などの原因とされています！！>

## ピロリ菌の正式名は？

ヘリコバクター・ピロリと言います。名前の由来はギリシャ語の[ヘリコ]から来た言葉で、[らせん][旋回]を意味しています（ヘリコプターの [ヘリコ] と同じです）。また[バクター]は細菌を[ピロリ]は胃の出口付近の幽門部を意味しており、胃の幽門部に存在するらせん菌という意味です。

## ピロリ菌がいる人は？

ピロリ菌に感染すると、症状があるなしにかかわらず、胃の粘膜に炎症が起こり、酸分泌細胞の働きが悪くなるために胃液の分泌が少なくなります。また血液の流れが悪くなり、胃を守る力が不十分になるので、粘膜に傷が出来やすくなります。そしてその粘膜から色々な病気を発症します。たとえば、胃潰瘍・十二指腸潰瘍の90%がピロリ菌の感染が原因とされています。また、ピロリ菌の感染により慢性胃炎が長年続くと、胃粘膜の細胞に変化が表れる為、胃癌の発症原因ともされています。ピロリ菌を除菌する事により、胃潰瘍・十二指腸潰瘍の再発を予防する事ができ、胃癌の発生リスクも1/3に低下する事がわかっています。

## 感染経路は？

ピロリ菌に対する感受性が高い5歳までの幼少期に、親からの口移しによつての経口感染が原因と言われています。噛み砕いた物を子供に口移しであげるといった行為は、ピロリ菌を感染させる可能性がありますので、止めましょう。またピロリ菌は幼少期に感染し、成人になってから感染する事は無いと考えられています。

## 検査方法は？

一般的な検査方法としては2つの方法があります。①迅速ウレアーゼ法は胃カメラ検査時に胃の組織を採取し、それを試薬の入ったビンに入れ、色の変化（黄色が赤に変化）する事で診断します。また、②尿素呼吸試験は、試薬（錠剤）を服用する前後で紙袋に息を吹き込み、それを機械にかけて検査する方法です。両方とも検査時間が約30分と早く迅速な診断が可能です。しかし、**強い胃薬や抗生剤を服用している方は、ピロリ菌の正確な判定に影響が出る為検査する事は出来ません。**

## 治療法は？

2種類の抗生物質と1種類の胃薬を合わせた3剤を一週間服用します。その後1カ月後にピロリ菌が退治されたかどうかを判定します。除菌に成功するのは**約80%の方**です。1回目の除菌治療が失敗した場合は、2回目まで除菌治療を行うことが出来ます。

### <除菌薬の副作用について>

一番多い副作用は便通異常で約10%の頻度で見られます。通常は軟便から一日3回以内の軽度な下痢で終わります。希にひどい下痢を起こす事もあり、その時は薬を一時中止して主治医と相談して頂きます。また、異味感や苦みを含む味覚異常が約3%の頻度で報告されています。この味覚異常は、もちろん薬を終了した後に徐々に元に戻ります。その他に**蕁麻疹を起こす副作用が約1%で報告されています。抗生剤のほとんどが、ペニシリンが原因と言われています。**今までに、ペニシリンで蕁麻疹が出た事があるペニシリンアレルギーの人は、除菌治療出来ませんので注意が必要です。

**\*薬を服用して、何かおかしいと感じた場合は、直ちに服用を中止して主治医に相談するようにして下さい。**

※胃の調子が悪い方は医師と相談して胃カメラ検査をしましょう！！！！